

宮崎県立看護大学研究紀要投稿規程

1. 本紀要の目的

本学における研究の質の向上に資することを目的とし、研究成果の発表の場として定期的に発行する。

2. 投稿資格

投稿者は本学の名誉教授、専任教員または大学院生とする。ただし、本学専任教員との共同研究者および研究紀要委員会(以下、委員会とする)が認めた者については、この限りではない。

3. 研究上の倫理規程の遵守

人を対象とした研究については、「ヘルシンキ宣言」および日本看護協会「看護研究における倫理指針」、文部科学省・厚生労働省・経済産業省「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、など研究倫理に関する指針を遵守する。また、倫理的配慮については、論文中に項目を立てて記載する。加えて、利益相反(COI)についても、有無や内容を記載する。

4. 投稿原稿の種類

投稿原稿の種類と内容は以下のとおりとし、未発表のものに限る。

【論文】(Article)

主題に関連した調査と分析を論述したもの、研究の総括など

【報告】(Report)

実践や調査の報告に資するもの

5. 原稿の執筆要領

1) 原稿は和文ないし、英文とする。A4判用紙に横書きとし、MS-Wordを用いる。和文原稿の場合は10.5ポイントのMS明朝全角を用い、論文中の句読点は「,」(全角カンマ)および「。」(全角句点)とする。英文原稿は12ポイントのTimes New Romanを用いる。なお、原稿内で使用する英数字と記号は半角とし、英単語の間と記号の後には、半角のスペースを入れる(ただし、ハイフンと括弧の場合を除く)。和文の場合は1頁あたり40字×30行を目安に作成する。英文の場合は1頁あたり250語を目安にダブルスペースで作成する。

2) 原稿の制限頁数は本文、図表、文献を含めて【論文】は本誌15頁以内、【報告】は8頁以内を原則とする。本誌1頁には、和文原稿で約1.5枚分、英文原稿で3枚分が掲載される。図表は各々の大きさに応じて刷り上がり、1/4~1頁分に相当すると考えて調整する。

3) 原稿には申請シートを付し、1頁目には和文要旨(800字以内)とキーワード(5項目以内)を記載する。【論文】の場合は、2頁目に英文で要旨(300語以内)とキーワードを記載する。

4) 本文は、1. 序論、2. 対象と方法、3. 結果、4. 考察を目安に適宜項目を立て、見出しを付ける。項目番号は、1., 1.1, 1.1.1, …の順に使用する(例えば「1. 序論」では、半角ピリオドの後に半角スペースを入れる)。頁番号は本文から文献までを通し番号とし、各頁の下中央に記入する。

5) 要旨には目的、方法、結果、結論の内容を含め、簡潔に記載する。

6) 本文に続いて謝辞, 利益相反の有無, 文献とし, 最後に図表を添付する。

7) 英文はあらかじめ native speaker により校閲を受けておく。

8) 外国語の単語(人名, 学名, 薬物名, 商品等)は原語で記載する。単位は国際単位系を用いる。

9) 文献

巻末の文献の記載方法

(1) 著書名(共著の場合は, 第一著者)の姓によるアルファベット順に列記する。

(2) 同一著者に「単独」と「共著」の文献があった場合には, 「単独」文献を先にし, 次に「共著」文献を並べる。

(3) 同一著者においては, 刊行年次に早い文献から順に並べる。

(4) 同一著者で刊行年次が同じ文献は, 発行年にアルファベットをつけて, これらの文献を区別する。なお, 本文中の記載においても同様とする。

例) 2012a, 2012b

(5) 文献の掲載方法は下記に従う。

文献の著者が3人までは全員, 4人以上の場合は3人までを記載し, 4人目以降は省略して「, 他」または「, et al.」とする。

(6) 巻末の文献を記載する際, 複数行にわたる場合は, 2行目以降を2文字分下げる。

① 雑誌の場合

著者名(発行年): 論文表題, 雑誌名, 巻(号), 最初頁-最終頁。

例) 薄井坦子, 三瓶眞貴子, 山岸仁美, 他(2002): 宮崎県立看護大学における教育課程

の構造とその評価, 宮崎県立看護大学研究紀要, 3(1), 1-9.

例) Davidhizar, R. E., Austin, J. K., MacBride, A. B. (1986) : Attitudes of patients with schizophrenia toward taking medication, Res Nurs Health, 9(2), 139-146.

② 単行本の場合

著者名(発行年): 表題, 書名, 編者, 版, 最初頁-最終頁, 出版社。

例) 薄井坦子(1997) : 科学的看護論, 第3版, 3-18, 日本看護協会出版。

例) Henderson, V. A. (1991) : The nature of nursing: a definition and its implications for practice, research, and education: reflections after 25 years, 9-33, National league for nursing press.

③ 翻訳書の場合

原著者名(原著発行年)/ 訳者名(翻訳書発行年): 翻訳書名(版数), 最初頁-最終頁, 出版社。

例) Walker, L. O., Avant, K. C. (2005)/ 中木高夫, 川崎修一 訳(2008) : 看護における理論構築の方法, 7-79, 医学書院。

④ 電子文献の場合

a. DOIがない学術論文

著者名(発行年): 論文名, 誌名, 巻(号), 最初頁-最終頁. [改行]

Webサイト(URL) (年/月/日アクセス)

b. DOIがある学術論文

著者名(発行年): 論文名, 誌名, 巻(号), 最初頁-最終頁. doi: xxxx/xxxx

⑤ 公的な Web サイトに掲載されている刊行物の場合

著者名(公開年)：表題.[改行]

Web サイト(URL)(年/月/日アクセス)

例) 厚生労働省(2014):平成 24 年度 特定健康
診査・特定保健指導の実施状況.

http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/dl/info03_h24_00.pdf(2015年3月
3日アクセス)

⑥ 新聞記事の場合

著者名：記事タイトル，新聞名，掲載年月日，
朝夕刊，該当面.

例) 中島嘉克: 接種記録 大量誤データなぜ，
朝日新聞，2021 年 12 月 29 日，4 面.

(著者名が不明なときは，記事名から記載する)

本文中における引用文献の記載方法

本文中に著者の姓，発行年次(西暦)を括弧表示
する。直接引用の場合は，引用部分を「」で
くくり，その後に(p.)と引用ページを記載する。

① 著者 1 名の場合

例) 鈴木(2018)は小児科病棟における・・・を
明らかにしている。

例) 看護師は，・・・と関わっていたことを明
らかにしている(鈴木，2015)。

② 著者 2 名の場合(3 名の場合も同様の形式と する)

例) 鈴木，田中(2017)は，小児外来におけ
る・・・を明らかにしている。

例) 看護師は，・・・と関わっていたことを明
らかにしている(鈴木，田中，2015)。

③ 著者が 4 名以上の場合

例) 鈴木，田中，吉田，他(2017)は，小児外来
における・・・を明らかにしている。

例) 看護師は，・・・と関わっていたことを明
らかにしている(鈴木，田中，吉田，他，2015)。

④ 同一著者の複数の文献の場合

例)・・・と述べている(石川，2014; 2016)。

⑤ 著者の異なる複数の文献を引用する場合

例)・・・と言われている(渋谷，2017; 谷川，
2018)。

⑥ 直接引用の場合

例) 鈴木，田中(2017)は，「小児外来における」
(p.30)と述べている。

9) 図表および写真

図，表，写真は A4 用紙 1 枚に 1 つとし，図
1，表 1，写真 1 (Fig. 1, Table 1, Photo 1)など
と通し番号を付ける。タイトルと説明は，図と
写真は下に，表は上に記載する。挿入希望位置
を本文の右欄外に示す。

論文に他の人の図表を転記する場合は，著作
権の所有者より転載許可を得て，そのコピーを
提出するとともに，図表の下に出典を明示する。
また，本人であると判断できるような写真を掲
載する場合には，その許可を得たことを示す文
書のコピーを添付する。

6. 原稿の提出先

投稿原稿は図表を含めて Word ファイルに
まとめ，原則としてメールに添付して申請(提
出)する。メールの宛先は kiyo@mpu.ac.jp と
し，投稿者はメールの送信記録を残す。申請時
には，申請シートと投稿チェックリストの書式
を学内ポータルよりダウンロードして記入し，
原稿とともに添付する。何らかの事情で郵送を
用いる場合は，次の宛先に送付する。

〒880-0929 宮崎市まなび野3丁目5番地1 宮崎県立看護大学 研究紀要委員会事務局	2006年2月改定 2007年3月改定 2009年2月改定
7. 原稿の受付 投稿原稿について、書式等に問題がある場合は、査読前に修正を求めることがある。そのため、受付日は修正が完了した時点となる。	2010年3月改定 2011年3月改定 2012年3月改定 2015年3月改定 2017年3月改訂
8. 採否および掲載順序 原稿掲載の採否は、査読者の判定を参考にし、委員会が決定する。受理された最終原稿は、あらためて Word ファイルとしてメール添付で提出する。図表を用いる場合は、編集が可能な Word や Excel のファイルも添付する。原則として受理した順に掲載するが、編集の都合上順序を変更することもある。	2021年3月改訂 2022年3月改訂
9. 校正 原則として、著者校正は初校までとする。その際の大幅な加筆訂正はできない。	
10. 紀要発行日 オンラインジャーナルは随時発行する。また、当該年度1月31日までにオンラインジャーナルに登録された原稿については、冊子体の研究紀要として年度末(3月末日)に発行する。	
11. 著作権 本紀要に掲載された原稿の著作権は、本学に属する。本学はこれらの著作物を本学のリポジトリに登録する。また、他の出版物への転載等の利用については本委員会の利用許可を受け必要がある。著作物利用申請書を学内ポータルよりダウンロードして記入し、本委員会に提出する。	

論文番号： - 初回・修正 回目

「宮崎県立看護大学研究紀要」申請シート

投稿日	20 年 月 日 ()
原稿の種類	論文 ・ 報告
和文題目	
英文題目	
キーワード (5 項目以内, 日本語/英語)	1. / 2. / 3. / 4. / 5. /
著者名 (日本語/英語)	
著者所属 (日本語/英語)	
原稿枚数	本文 枚 (序論から文献まで)
図・表・写真	図 (枚) / 表 (枚) / 写真 (枚)

編集処理用：

受付日：202 年 月 日 受理日：202 年 月 日

論文番号： -

「宮崎県立看護大学紀要」投稿チェックリスト

投稿前に以下の項目について確認してください。確認できた項目の行頭にある□を■に書き換え、日付と投稿者の氏名を記載したうえで、本文と合わせてメールで投稿してください。

- 投稿資格を満たしている。
- 共同研究の場合、投稿に関しては共著者全員の承諾を得ている。
- 倫理的配慮を要する研究はその内容が記載されている。
- 利益相反に関する内容が記載されている。
- 他誌に発表済み、あるいは投稿中の論文でない。

- 投稿規定を確認し、執筆要領に沿って記載している。
- 和文は40字×30行、英文は250語を目安にダブルスペースで作成している。
- 原稿の枚数は本文・図表・文献を含めて、制限範囲内である。
- 申請シートをつけている。
- 和文要旨(800字以内)、英文要旨(300語以内、論文は必要)をつけている。
- 要旨(英和ともに)にキーワード(5項目以内)をつけている。
- 英文はnative speakerの校閲を受けている。
- 転載許可が必要なものは、承諾を得てコピーを添付している。
- 文献の記載方法は投稿規定に従っている。

- 希望する原稿の種類など、申請シートに必要事項をすべて記載している。
- 投稿原稿1部、申請シート、投稿チェックリストを準備している。

上記につきまして、すべて確認しました。

202 年 月 日

氏名_____